

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	第2放課後等デイサービス ささゆり				公表日	R7年 2月 19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	限られたスペースで活動できる内容の工夫を行っています。ホワイトボード等を使って活動エリアを分けています。	児童の特性や勉強スペースの確保、遊びのスペースの確保の工夫をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	職員間で声をかけ合い、よりよい支援ができるよう努めています。また、調理活動や工作等の活動においては、班に1～2人の職員が支援に入れるようにしています。	法的基準は満たしていますが、一人一人に手厚い支援をしようと思うともう少し職員が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	部屋ごとに名前やイラストの掲示をする事で分かりやすくしています。	建物の構造上2階を使用しているため、階段などの危険を伴う場所では職員が介助しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	児童が退室後、毎日掃除と消毒を行っています。	活動場面によっては机を移動するなどスペースを確保しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	児童がクールダウンしないといけない場合は、職員と共に別室に移動しています。	児童の下校時間が違うため、空いている部屋はないですが、学習している児童の場所を変えて臨機応変に対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	朝礼や終礼で活動の振り返りをし、改善が必要な場合は話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者向けのアンケートを行い、改善すべきことを職員で話し合い業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼・終礼やモニタリングに向けての個別支援計画の見直しの会議などで意見を出し合い改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		第三者による外部評価は今現在出来ませんが、今後必要な事項があれば検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月一回オンライン研修に参加し、その他にも事業所内の研修や外部の研修があります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	児発管、現場職員、児童、保護者の意向を踏まえたプログラムを作成しています。日常生活につながる活動を取り入れ、HUGなどの記録に反映し、保護者に公開していますが、HPには、公開されていません。	令和7年4月に向けて公開予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	個々の児童についての情報交換を日常的に行い、児発管がアセスメントをしています。ニーズや課題を分析し、職員と話し合いながら作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	児童の最善の利益を考慮した計画作成を行っているが、定期的に見直し、改善に努めます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画の作成に全職員が参加し、日常の支援に生かせるよう努めています。また、支援の中で疑問点や改善点が生じた場合はその都度話し合いを行い、改善しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	相談支援事業所で行なわれるサービス担当者会議にて情報提供のもと保護者にアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	提供すべき支援の各項目を踏まえた上で個々の利用者に必要な支援が行えるようにイベントなどの月間計画を設定しています。	移行支援では学校連携は取りつつも小学生ということでなかなか難しいですが、保護者への情報提供は行なっています。しかし、地域支援・地域連携としては地域性もあり、現状では難しいです。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	活動プログラムの打ち合わせを行い、参加できなかった職員に対し報告をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	児童が興味を持ちそうなもの、同じものでもバージョンアップさせるなどの工夫をしながら取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別活動・集団活動において、児童の特性と課題を把握し計画の作成をしています。	児童が満足して活動できるような時間設定を工夫していきます。より分かりやすい内容になるよう改善に努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼で担当を決め、内容や役割分担、児童の予測される動きを想定しながら行なっています。業務タイムスケジュール表を作成し、朝礼に参加できない職員にも周知できるように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼を行い、その日の活動の振り返りと児童の様子及び送迎時における保護者からの情報共有を行なっています。	必要な内容は記録に残すよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	HUGの記載はもちろん、支援の共有、統一が必要な事項に関しては共有ノートを作成し、その日の変化、検討内容に関して話し合いを持っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6ヶ月に1回児童の変化・成長を伝えあい、計画の見直しを行っています。	職員・保護者で共有し計画の見直しを行なっています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	活動の中に体験を踏まえて成功体験が得られる活動内容の工夫、長期休暇など地域に出かけ、利用の仕方、挨拶を学ぶ機会など4つの基本活動を視野に入れた支援を行なっています。	地域交流の活動に関しては、連携できる地域資源の確保や共有できる時間の確保に努めています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	状況に応じて児童の意志が尊重できるような責任・役割意識を持って取り組める設定を取り入れています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	事前に現場の職員と情報共有をし、全体を把握した児発管が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	障害福祉課、子ども未来課、学校との連携は必要に応じて行なっています。	保健・医療面での共有はなかなか難しいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	一か月前に学校の予定等共有しながら変更等も随時、情報共有・連絡調整を行なっています。月間報告書を作成することで情報共有が出来るように努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	利用にあたって保育園・小学校への訪問等で聞き取りをしたり、会議に参加して連携を実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	現在、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいませんが、必要であれば情報提供を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	研修やサービス担当者会議に参加し、情報共有に努めています。	連携会議や研修に積極的に参加するよう努めています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	放課後児童クラブや児童館との交流を計る機会は難しいですが、公共の場に出かけ、地域の他の子どもたちと接する機会はあります。	今後、地域の子どもたちと交流できる機会を設けるように努めています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		現在参加はしていませんが、今後参加も視野に入れていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時やHUGにてその日の様子をお伝えし、発達状況や家庭の様子を聞き取り情報共有、課題について理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	年に数回家族の方も参加できるプログラムも企画したり、保護者同士話し合いができる場（おしゃべりサロン）を設けています。	今後、保護者会からペアレントトレーニングの場へと発展していけるよう努めています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明を行い、説明を求められればいつでも説明を行うようにしています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	契約のアセスメントの際、保護者、児童の意思を踏まえて計画を立て6ヶ月に1回見直しをしています。必要であれば、保護者とは話し合いの機会を持っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	初回のアセスメント後計画を作成し、支援内容の説明を行い、同意を得ています。基本的には6ヶ月に1回見直しを行なっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	悩みや相談等があった場合には、職員間で共通理解、検討を行い、相手の思いに寄り添った助言・支援ができるよう心がけています。	保護者からの声をより丁寧に聞き取り、職員間で共有をし対応できるよう努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	形式的な父母の会、保護者会はないですが、今年度は活動の場を見たらう機会を外部の講師を呼んでしゃぼん玉やリトミック、防災教室、音楽会、運動会、芸術文化祭に参加など交流の機会を設けました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	児童や保護者等苦情があれば職員間で共有をし、原因を探るとともに改善策を話し合い、保護者等に迅速・適切に対応を行なっています。必要に応じて虐待防止委員会に報告しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的に通信を発行しインスタグラムにて活動の様子を発信しています。イベントカレンダーにて活動概要や行事予定も発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報保護マニュアルを作成し、それに基づき徹底を意識するとともに、必要に応じて同意書等も作成し取り組んでいます。	日常的に意識を高め職務に従事するよう努めていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	送迎時に様子をお伝えすると共に不十分なところは家庭での聞き取りもお願いし、情報共有しています。児童の意思疎通に関して思いに寄り添いながら聞き取りをしています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	まだまだ地域には浸透は難しいですが、芸術文化祭や音楽会では学校にもチラシを配布し、来て頂きました。	施設環境、時間帯、感染症などの状況を考えてなかなかできない現状があります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	簡易にまとめたマニュアルを各家庭に配布しました。避難訓練は年2回、不審者対応1回、防災教室(保護者参加型)を1回しました。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	普段の避難訓練に加え、拠点避難所である上野東小学校で引き渡し訓練を行いました。同施設である第2リハビリデイサービスへ避難経路の確認をし、1月9日にBCP研修を行いました。	今後も消防署等の関係機関とも連携を取りながら行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時にアセスメントで聞き取っていますが、状況が変わった際、保護者さんに確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	現在対象の児童はいませんが、アセスメントや担当者会議等で得た情報をもとに共通認識を持って対応していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、必要な研修を行い、知識の向上を計ると共に日々安全管理に配慮した支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全マニュアルを配布すると共に取り組みについては通信等でお伝えし、理解してもらえよう努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	事業所グループ全体で事象共有を行っています。事故・ヒヤリハットの記録をすると共に、事例について会議を行い必要に応じて保護者等への報告も実施しています。	些細な事でも共有し対応できるよう努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止マニュアル・身体拘束廃止マニュアルを作成し、それに基づき支援するとともに研修会に参加し意識を高めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在身体拘束をやむを得ず行う児童はいませんが、研修に取り組み、必要な対応、知識を身につけています。	身体拘束を行うことに関しては、職員間で話し合いを行い、保護者の了解を得た上で虐待防止委員会に検討事項として挙げ、決定してから放課後等デイサービス計画に記載するように努めます。	